

1 次の各問いに答えなさい。

(1)  $12a^2 - 27$  を因数分解しなさい。

(2)  $x^2 - 2x - 2024 = 0$  を解きなさい。

(3)  $\sqrt{1.08} \times \left( \frac{1}{\sqrt{27}} - \sqrt{2} \right) + \frac{1}{10} (3\sqrt{2} + \sqrt{3})^2$  を計算しなさい。

(4)  $A, B$  は自然数で、 $A < B$  とする。このとき、 $A$  以上  $B$  以下の自然数の個数を、 $A$  と  $B$  を用いて表しなさい。

(5) 大小2個のサイコロを同時にふるとき、出た目の和が素数になる確率を求めなさい。

(6) 正方形に内接する円と外接する円の面積比を求めなさい。

2

次のア～カを埋めなさい。

- (1) 60分の番組を、1.5倍速で見たら、分かかる。
- (2) A分の番組を、B倍速で見たら、 $A \times$  () 分かかる。
- (3) 10,000円の商品を、3割引で買うと、円である。
- (4) A円の商品を、B割引で買うと、 $A \times$  () 円で計算できる。  
(整数値に直さなくてよい。)
- (5) 税込価格702円の品物で、消費税が8%かかっているとき、  
税抜価格は円である。
- (6) 税込価格A円の品物で、消費税がB%かかっているとき、  
税抜価格は $A \times$  () 円で計算できる。(整数値に直さなくてよい。)

次のア～クを埋めなさい。

開くん : 世の中には、「5手ジャンケン」というものがあるらしいよ。

智ちゃん : 何それ？やりたいからルールを教えて！

開くん : グー、チョキ、パーの他に、あと2つ手があるんだ。今回は、親指だけを立てた「オーライ」と、親指、人差し指、小指の3本を立てた「ウィッシュ」の2つを加えるよ。

智ちゃん : 勝ち負けの条件は？

開くん : 同じ手どうしならあいこだよ。

あとは右の表をみて。

「パーはグーに勝つ」を「パー→グー」のように表現しているよ。



智ちゃん : 私と開くんの2人で5手ジャンケンをするとき、2人とも5種類の出し方があるから、組み合わせは全部で  通りあるね。

このとき、私がグーで勝つ確率は  で、

私が勝つ確率は  だよ。

開くん : あいこになる確率は  だよ。

校長先生 : 面白いことをしているのう。ワシもまぜてくれんか？

智ちゃん : 校長先生！3人で5手ジャンケンをするとき、ルールはどうなるのかしら？

開くん : 普通のジャンケンと同じで、3人とも同じ手ならあいこ、

2人が同じ手、1人がちがう手を出せば、勝ち負けが決まるよ。

例えば、パーが2人、グーが1人なら、パー2人の勝ち。

ややこしいのは、3人がすべてちがう手を出しても、

あいこになるときとならないときがあるんだ。

校長先生 : 例えば、グー、チョキ、パーのときはあいこじゃが、パー、グー、

ウィッシュの場合はパーの勝ち、パー、チョキ、ウィッシュの場合は、

チョキの勝ちじゃ。

開くん : 両方の相手に勝った人が、ジャンケンの勝者ってことだよ。

片方に勝っても、もう片方に負けたらダメ。

智ちゃん：この3人で5手ジャンケンをして1回するとき、私1人だけがパーで勝つ確率は、、私1人だけが勝つ確率は、私が勝つ確率は、あいこになる確率はよ。

**4**

2次関数  $y = ax^2 \cdots$  ①上に2点  $A(2, -4)$ 、 $B(-2, -4)$  がある。

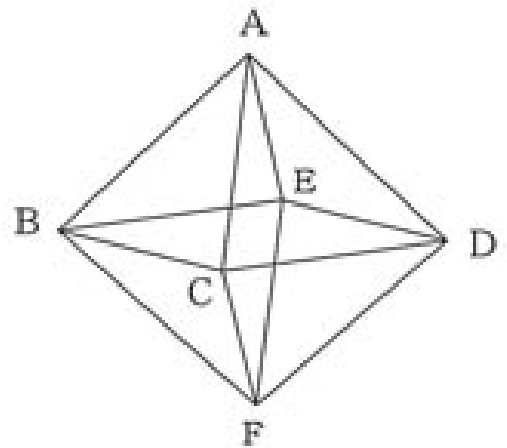
このとき、次の各問いに答えなさい。

- (1)  $a$  の値を求めなさい。
- (2) 原点を  $O$  とする。  $y$  軸上に点  $C$  を、四角形  $OACB$  がひし形となるようにとるとき、 $C$  の座標を求めなさい。
- (3) (2) のとき、①上に点  $P$  をとり、 $x$  軸上に点  $Q$  をとる。  
平行四辺形  $AQBP$  の面積と四角形  $OACB$  の面積が等しくなるとき、  
点  $Q$  の座標をすべて求めなさい。

5

図のような、1辺の長さが6の正八面体  $ABCDEF$  について、  
次の各問いに答えなさい。

- (1) 正八面体  $ABCDEF$  の体積を求めなさい。
- (2) 線分  $BD$  の中点を  $G$  とする。点  $G$  から平面  $ABC$  に垂線をおろすとき、  
その垂線の長さを求めなさい。



- (3) 正八面体  $ABCDEF$  の  
内接球の体積を求めなさい。

各 ④点	(1)	$3(2a+3)(2a-3)$	(2)	$x = 46, -44$
	(3)	$\frac{23}{10}$	(4)	$B - A + 1$
	(5)	$\frac{5}{12}$	(6)	$1 : 2$

\*1  
24

各 ③点	(ア)	40	(イ)	$\frac{1}{B}$
	(ウ)	7000	(ロ)	$1 - \frac{B}{10}$
	(エ)	650	(ハ)	$\frac{100}{100+B}$

\*2  
21

各 ③点	(ア)	25	(イ)	$\frac{2}{25}$
	(ウ)	$\frac{2}{5}$	(ロ)	$\frac{1}{5}$
	(エ)	$\frac{4}{125}$	(ハ)	$\frac{4}{25}$
	(キ)	$\frac{8}{25}$	(ク)	$\frac{7}{25}$

\*3  
24

座席番号	受験番号	氏名
-		

\*欄には何も記入しないこと

4

(1)

$$a = -1$$

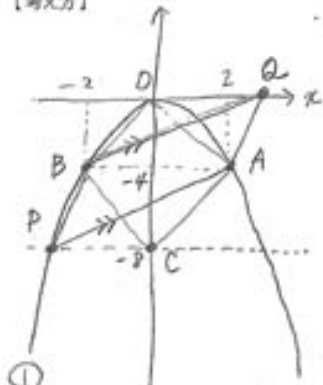
④

(2)

$$(0, -8)$$

④

【考え方】



(3)

⑦

点Qがx軸上に存在する。△OAB = △QAB

∴ △ABC = △ABP が成り立つから、

Pのy座標が-8となる。△

① 上に存在する。Pのx座標は、

$$-8 = -x^2$$

$$x = \pm 2\sqrt{2} \quad \triangle$$

平行四辺形の性質より、P(±2√2, -8) と (0, -4)

を通る直線とx軸の交点がQである。

答え  $(2\sqrt{2}, 0), (-2\sqrt{2}, 0)$

\*4

15

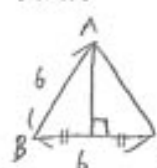
5

(1)

$$72\sqrt{2}$$

④

【考え方】



$$\triangle ABC = \frac{1}{2} \times 6 \times 3\sqrt{3} = 9\sqrt{3} \quad \triangle$$

一方、三角形ABCの面積は、

$$\frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2} \times 3\sqrt{3} \times 3\sqrt{3}\right) \times 3\sqrt{2} = 9\sqrt{2} \quad \triangle$$

求める垂線の長さをxとすると

$$\therefore \frac{1}{2} \times 9\sqrt{3} \times x = 9\sqrt{2}$$

$$x = \sqrt{6}$$

(2)

⑥

答え

$$\sqrt{6}$$

⑥

【考え方】

(2) 正四面体の長さaの内部球の半径、

$$\frac{4}{3}\pi (\sqrt{6})^3 = 8\sqrt{6}\pi \quad \triangle$$

答え

$$8\sqrt{6}\pi$$

\*5

16

1 次の各問いに答えなさい。

(1)  $b^3 - b^2 - 2b$  を因数分解しなさい。

(2)  $x^2 + 2x - 9 = 0$  を解きなさい。

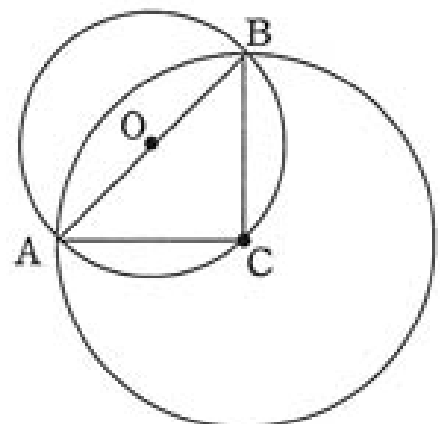
(3)  $\frac{1}{1 - \sqrt{2} + \sqrt{3}}$  の分母を有理化しなさい。

(4) 1 から 5 の数字がそれぞれ書かれた 5 枚のカードから同時に 2 枚選ぶとき、2 枚の数の積が偶数となる確率を求めなさい。

(5) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 2x + 3y = 4 \\ 3x - 5y = -13 \end{cases}$$

(6) 図のように、点  $O$  を中心とする半径  $\sqrt{2}$  の円周上に 3 点  $A$ 、 $B$ 、 $C$  がある。線分  $AB$  上に点  $O$  があり、 $AC \perp BC$  である。さらに、点  $C$  を中心とし、2 点  $A$ 、 $B$  を通る円を描いたとき、2 つの円の共通部分の面積を求めなさい。





2

次のア～サを埋めなさい。

$y = x^2$  上に2点  $A(a, a^2)$ ,  $B(b, b^2)$  があるとき,

直線  $AB$  の傾きは , 直線  $AB$  の切片は  である。

$C_0(-1, 1)$ ,  $C_1(2, 4)$  とする。

直線  $C_0C_1$  の傾きは , 切片は ,

直線  $C_0C_1$  と垂直な直線の傾きは  である。

$y = x^2$  上の点を  $C_2(c, c^2)$  とする。

直線  $C_1C_2$  が、直線  $C_0C_1$  に垂直だとすると,

$c =$  , 直線  $C_1C_2$  の切片は  である。

同様にして,  $C_3(d, d^2)$  が  $y = x^2$  上にあり,

直線  $C_2C_3$  が直線  $C_1C_2$  に垂直だとすると

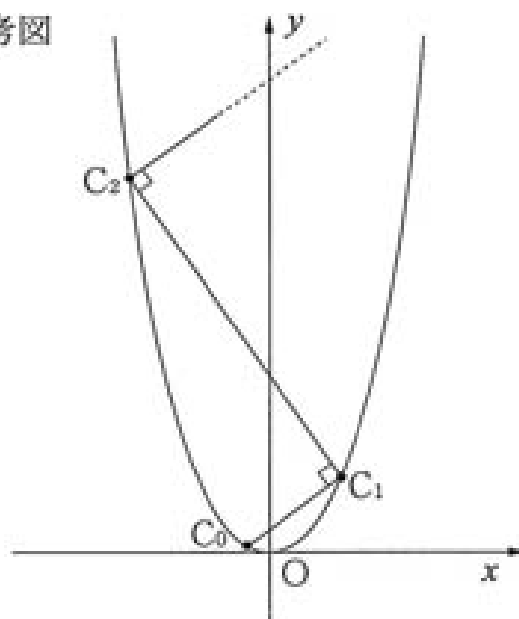
$d =$  , 直線  $C_2C_3$  の切片は  である。

同様の規則で, すべての自然数  $n$  について, 点  $C_n$  は  $y = x^2$  上にあり,

$C_nC_{n+1} \perp C_{n-1}C_n$  であるだとすると,  $C_{10}$  の  $x$  座標は ,

直線  $C_9C_{10}$  の切片は  である。

参考図



**3**

図のような7人がけのイスがあり、  
座席位置をA～Gとする。

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

ここに座ろうとする人は、全員が次のルールに従って着席していく。

ルール

- ① 両端（AとG）が両方とも空いているときは、どちらかに座る。
- ② 両端（AまたはG）のうち一方だけが空いているときは、そこに座る。
- ③ 両端が両方とも埋まっているときは、両隣が空席となる位置を選んで座る。
- ④ ①～③をみたす席がないときは、片方の隣が空席となる位置を選んで座る。
- ⑤ ①～④で座れないときは、空いている席に座る。

- (1) すべて空席の状態、1人目に来た人が座る位置は何通りか。
- (2) 1人がすでに座っている状態で、2人目に来た人が座る位置は何通りか。
- (3) 2人がすでに座っている状態で、3人目に来た人が座る位置は何通りか。
- (4) 3人がすでにA、D、Gに座っている状態で、4人目に来た人が座る位置は何通りか。
- (5) すべて空席の状態から、1人ずつ順番に4人が座っていくとき、その座り方は何通りか。
- (6) すべて空席の状態から、1人ずつ順番に7人が座っていくとき、その座り方は何通りか。

**4**

2次関数  $y = ax^2 \dots \textcircled{1}$  上に点 A  $(-2, 2)$  がある。

このとき、次の各問いに答えなさい。

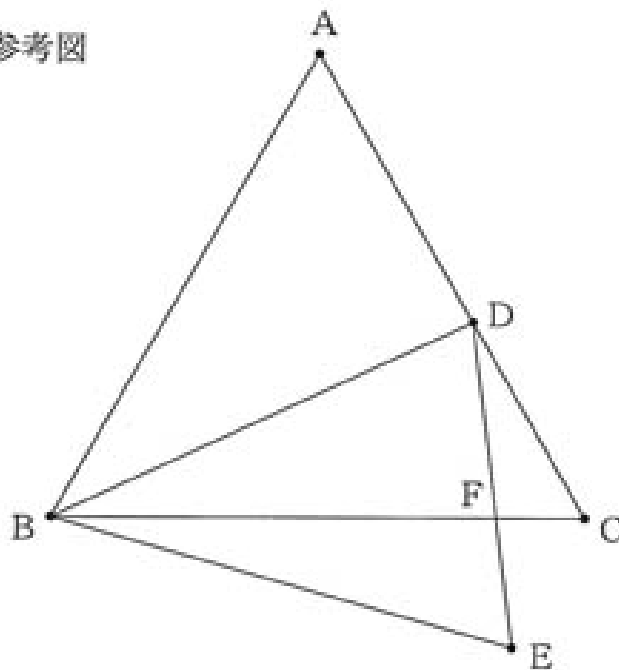
- (1)  $a$  の値を求めなさい。
  
- (2) 点 A を通る傾き  $\frac{1}{2}$  の直線と2次関数 $\textcircled{1}$ の交点のうち、Aと異なる点をBとする。  
原点をOとして、 $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。
  
- (3) (2)のとき、 $\triangle OAB$ を  $x$  軸の周りに回転させてできる立体の体積を求めなさい。

5

1 辺の長さが 1 である正三角形  $ABC$  において、辺  $AC$  上に点  $D$  を  $AD:DC=2:1$  となるようにとる。また、直線  $BD$  に関して、点  $A$  と対称な点を  $E$  として、 $BC$  と  $DE$  の交点を  $F$  とする。このとき、次の各問いに答えなさい。

- (1)  $\triangle BEF \sim \triangle DCF$  であることを証明しなさい。
- (2)  $AE$  の長さを求めなさい。
- (3)  $BD$  を折り目として、平面  $ABD$  と平面  $CBD$  が垂直となるように折り曲げたとき、4 点  $A, B, C, D$  を頂点とする立体の面積を求めなさい。

参考図



1  
各4

(1)	$h(h+1)(h-2)$	(2)	$x = -1 \pm \sqrt{10}$
(3)	$\frac{-\sqrt{2}+2+\sqrt{6}}{4}$	(4)	$\frac{7}{10}$
(5)	$x = -1, y = 2$	(6)	$2\pi - 2$

\*1  
24

2

(ア) ②	$a + b$	(イ) ②	$-ab$
(ウ) ②	1	(ロ) ②	2
(エ) ②	-1	(ハ) ②	-3
(キ) ②	6	(ニ) ②	4
(ク) ②	12	(ホ) ③	-11
(ケ) ③	110		

\*2  
24

3

(1) ③	2	(2) ③	1
(3) ③	3	(4) ③	4
(5) ④	12	(6) ④	56

\*3  
20

座席番号	受験番号	氏名
-		

\*欄には何も記入しないこと

4

(1)

④

$$a = \frac{1}{2}$$

【考え方】 直線 AB は  $y = \frac{1}{2}x + 3$  と表す。

$$\frac{1}{2}x^2 = \frac{1}{2}x + 3$$

$$x = -2, 3 \text{ である。} \rightarrow \triangle$$

(2)

$$\triangle OAB = \frac{1}{2} \times 3 \times 3 + \frac{1}{2} \times 3 \times 2 = \frac{15}{2} \quad (3)$$

⑤

答え

$$\frac{15}{2}$$

⑦

【考え方】  $y = \frac{1}{2}x + 3$  と  $x$  軸の交点 は

$$(-6, 0) \text{ である。} \rightarrow \triangle$$

$$\frac{1}{3} \times \pi \times \left(\frac{9}{2}\right)^2 \times \frac{1}{3} - \frac{1}{3} \times \pi \times 2^2 \times 4$$

$$- \frac{1}{3} \times \pi \times 2^2 \times 2 - \frac{1}{3} \times \pi \times \left(\frac{9}{2}\right)^2 \times 3 = \frac{65}{2} \pi$$

答え

$$\frac{65}{2} \pi$$

\* 4

16

5

$$\angle BEF = 60^\circ, \angle DCF = 60^\circ \text{ である。} \rightarrow \triangle$$

$$\text{対頂角は等しいから} \angle BFE = \angle DFC \rightarrow \triangle$$

(1)

$$\text{2組の角がそれぞれ等しいから} \triangle BEF \sim \triangle DCF \rightarrow \triangle$$

④

【考え方】 AE と BD の交点 E, G とする。

また、点 B から AC に垂線 BH を下ろすと、

$$BD = \sqrt{BH^2 + HD^2} = \sqrt{\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)^2 + \left(\frac{1}{6}\right)^2} = \frac{\sqrt{7}}{3} \rightarrow \triangle$$

(2)

$$\triangle ABD = \frac{1}{2} \times \frac{2}{3} \times \frac{\sqrt{7}}{2} = \frac{\sqrt{7}}{6} \quad (3)$$

$$\frac{1}{2} \times AG \times BD = \triangle ABD \text{ である。} \rightarrow \triangle$$

$$AE = 2AG \text{ である。} \rightarrow \triangle$$

⑥

答え

$$\frac{2\sqrt{21}}{7}$$

⑥

【考え方】

$$\frac{1}{3} \times \triangle BCD \times AG \rightarrow \triangle$$

$$= \frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times \frac{1}{3} \times \frac{\sqrt{3}}{2}\right) \times \frac{\sqrt{21}}{7}$$

$$= \frac{\sqrt{7}}{84}$$

答え

$$\frac{\sqrt{7}}{84}$$

\* 5

16